

**BEENOS グループ、インド初のオンライン C2C 不動産マーケットプレイス
「NoBroker（ノーブローカー）」に出資
インドの不動産取引の慣例をテクノロジーで革新、
ユーザーファーストの新領域サービスを有望視**

BEENOS 株式会社(東京都品川区 代表取締役:直井 聖太、以下「BEENOS」)の 100%子会社で新興国のスタートアップ企業に投資を行う BEENOS Asia Pte. Ltd.(本社:シンガポール 以下「BEENOS Asia」)は、インド初のオンライン C2C 不動産マーケットプレイス「NoBroker(<http://www.nobroker.in/>)」を運営する Nobroker Technologies Solutions Private Limited (本社:インドバンガロール、以下、NoBroker)のシリーズ B ラウンドにおいて出資をいたしました。

1. インドの不動産業界と NoBroker について

インドの不動産業界は、一般的に貸主(売主)と借主(買主)との間に専任業者が仲介し、貸主、借主の両者ともに専任業者に対して取引価格に応じた仲介手数料を支払う必要があります。また、借主が入手することができる物件情報は、専任業者から提供されるもののみになっているため、情報が不透明で偏向的になる場合も少なくはありません。

そこで、NoBroker は、インドの不動産業界に生じる問題を顕在化させ、貸主も借主もより安心・安全に取引することができるようオンライン上で直接やりとりする不動産マーケットプレイスを開始いたしました。NoBroker は、フラットな登録料やその他オプション料による課金モデルで、利用者は 1 年間で 5 万人から 65 万人へと急速に増加しております。

NoBroker は、今回の資金調達によりさらなるユーザビリティの強化を図り、規模の拡大を目指します。

◆NoBroker の概要

- (1)社 名: Nobroker Technologies Solutions Private Limited
- (2)設 立 年:2014 年 12 月
- (3)サイト URL: <http://www.nobroker.in/>
- (4)本 社: インド・バンガロール

2. BEENOS の出資背景について

BEENOS は、インドのインターネット市場の成長を、ネクスト・チャイナ(次の中国)の最有力市場と捉え、人口の増加を背景とした今後の市場急成長の可能性を鑑み、注目してまいりました。2013 年 1 月には B2C オンラインマーケットプレイス「ShopClues (ショッピングクルーズ)」(<http://www.shopclues.com/>)、同年 12 月にはオンライン決済サービス「CitrusPay (シトラスペイ)」(<http://www.citruspay.com>)に、2014 年 7 月には自動車売買オンラインマーケットプレイス「Droom(ドゥーム)」(<http://droom.in>)、同年 10 月にはインド No.1 のオンラインストアソリューション「KartRocket (カートロケット)」(<http://www.kartrocket.com>)、そして 2015 年 4 月には価格比較サービス「Buyhatke (バイハツケ)」(<http://compare.buyhatke.com>)、同年 12 月にはモバイルファッションマーケットプレイス「Voonik (ヴーニック)」(<http://www.voonik.com/>)へと投資を行い、株主かつ戦略パートナーとして、各々の成長をサポートしてまいりました。NoBroker は、市場規模が大きく専門性が高いマーケットプレイスであることに加え、急激に人口が増加しているインドだからこそ加速度的に成長することを見込み、投資をいたしました。

今後も引き続き、これまでに培ってきた事業ノウハウを活かし、グローバルな事業創造支援活動を続けてまいります。

【BEENOS 株式会社の概要】

- (1)社 名: BEENOS 株式会社
- (2)代 表 者: 代表取締役社長 兼 グループ CEO 直井 聖太
- (3)本 店 所 在 地: 東京都品川区北品川四丁目 7 番 35 号
- (4)設 立 年 月: 1999 年 11 月
- (5)資 本 金: 27 億 25 百万円

以上